

Let's 居住地校交流 小学部④

「居住地校交流」とは

本校の児童生徒（希望者）が、自分が住んでいる地域の小・中学校に出向き、同年代の友達と一緒に学習する交流及び共同学習です。地域での人間関係を広げ、豊かに暮らしていくことをねらいとしています。

令和7年11月
追分小学校にて

6年生の児童が、追分小学校の6年生のみなさんと学級活動の「動いて感じて分かり合おう」で交流をしました。



「よっちょれ」のダンスやピン倒しボールゲームを行いました。ダンスでは、元気いっぱい踊り、ピン倒しボールゲームでは、各学級のグループの友達と一緒にゲームに参加しました。チームの一員として、ピンを倒すことはもちろん、倒れたピンを直したりボールを集めたりしました。最後の最後に20本全部のピンを倒すことができたときには、会場のもみなで喜びを分かち合いました。



（保護者の方より）

ピン倒しボールゲームのデモンストレーションで、ピンを倒したときに「おー」と歓声が上がったり、追分小の友達から声をかけてもらったりしている姿を見て親としてうれしかったです。



（追分小学校の先生より）

保育園が一緒だった子どもたちもいますし、毎年交流しているので、親しみをもっているように感じました。